

令和8年 4月入学

山口大学大学院共同獣医学研究科  
博士課程

学 生 募 集 要 項

ADMISSION PROCEDURE FOR THE DOCTORAL COURSE OF  
JOINT GRADUATE SCHOOL OF  
VETERINARY MEDICINE, YAMAGUCHI UNIVERSITY,  
APRIL 2026 ENTRANCE

山口大学大学院共同獣医学研究科  
Joint Graduate School of Veterinary Medicine,  
Yamaguchi University

〒753-8515 山口市吉田1677-1

1677-1 Yoshida, Yamaguchi City, Yamaguchi 753-8515, Japan

TEL (083) 933-5937 (直通 direct)

FAX (083) 933-5938

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/laboratory/gsvm/>

出願書類等については、この学生募集要項において、必要なため提出していただくものであり、これによって得た個人情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律、第 9 条第 2 項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提出することはありません。

The application documents will not be submitted for any other reasons or to any other persons, unless in the case of an exception set by the Private Protection Law (the ninth article) of Yamaguchi University.

## 入学試験日程

### ○2026 年 4 月入学（第 1 次募集）

事 項	日 程
入学試験出願資格申請	2025 年 6 月 13 日（金）～6 月 27 日（金）
出 願 期 間	2025 年 7 月 31 日（木）～8 月 6 日（水）
試 験 日	2025 年 8 月 28 日（木）
合 格 発 表	2025 年 9 月 12 日（金）10 時
入 学 手 続	2026 年 2 月 16 日（月）～2 月 19 日（木）

### ○2026 年 4 月入学（第 2 次募集）

事 項	日 程
入学試験出願資格申請	2025 年 12 月 15 日（月）～2026 年 1 月 5 日（月）
出 願 期 間	2026 年 1 月 13 日（火）～1 月 16 日（金）
試 験 日	2026 年 1 月 27 日（火）
合 格 発 表	2026 年 2 月 12 日（木）10 時
入 学 手 続	2026 年 2 月 16 日（月）～2 月 19 日（木）

\* 第 2 次募集は、第 1 次募集の状況により実施しない場合があります。

\* 第 2 次募集実施の有無については、第 1 次募集合格発表後に共同獣医学研究科ホームページ  
(<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/laboratory/gsvm/examination.html>) で公表する予定です。

## Entrance Examination Schedule

### ○ Admission in April 2026 (First round)

Item	Schedule
Entrance examination eligibility application	June 13 (Fri.) to June 27 (Fri.), 2025
Examination application period	July 31 (Thu.) to August 6 (Wed.), 2025
Examination date	August 28 (Thu.), 2025
Announcement of results	September 12 (Fri.), 2025, 10:00AM
Admission procedures	February 16 (Mon.) to February 19 (Thu.), 2026

### ○ Admission in April 2026 (Second round)

Item	Schedule
Entrance examination eligibility application	December 15 (Mon.), 2025 to January 5 (Mon.), 2026
Examination application period	January 13 (Tue.) to January 16 (Fri.), 2026
Examination date	January 27 (Tue.), 2026
Announcement of results	February 12 (Thu.), 2026, 10:00AM
Admission procedures	February 16 (Mon.) to February 19 (Thu.), 2026

\* The second round may not be conducted depending on the results of the first round.

\* Whether the second round is conducted or not is planned to be announced on the Joint Graduate School of Veterinary Medicine website ([https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/laboratory/gsvm/examination\\_e.html](https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/laboratory/gsvm/examination_e.html)) after the announcement of results for the first round.

## 山口大学大学院共同獣医学研究科入学定員の増員について

山口大学では、共同獣医学研究科の定員の増員を計画しており、現在、文部科学省と概算要求事項として協議中です。この計画により、令和8年4月から入学定員が6人から10人に増員となる見込みです。

入学定員増員計画の承認が得られた場合、令和8年度山口大学の募集人員は獣医学専攻10名とします。協議結果については山口大学大学院共同獣医学研究科ホームページ等にて公表します。なお、この計画は、文部科学省との協議結果によって確定するものであり、変更することがあります。

### ●入学定員の増員計画の概要

#### 【現行】

専攻	募集人員
	2026年4月入学
獣医学	6人



#### 【入学定員増員計画の承認が得られた場合】

専攻	募集人員（1次）
	2026年4月入学
獣医学	6人

専攻	募集人員（2次）
	2026年4月入学
獣医学	4人

## Increase in the admission capacity of the Joint Graduate School of Veterinary Medicine at Yamaguchi University.

Yamaguchi University is planning to increase the admission capacity of the Joint Graduate School of Veterinary Medicine, and currently discussions are underway with the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) as part of a preliminary budget request. Under this plan, the admission capacity is expected to increase from 6 students to 10 students starting in April 2026.

If the plan to increase the admission capacity is approved, the number of students admitted to the veterinary medicine program at Yamaguchi University will be set at 10 students for the 2026 academic year. The results of these discussions will be announced on the official website of the Joint Graduate School of Veterinary Medicine at Yamaguchi University. Please note that this plan is subject to change as it will be determined by the results of discussions with the MEXT.

### Overview of Admission Capacity Increase Plan

#### Current Admission Capacity:

Program	Admission Capacity
Veterinary Medicine	6 students (April 2026 enrollment)



#### Proposed Admission Capacity (Upon Approval):

Program	Admission Capacity (First Round)	Admission Capacity (Second Round)
Veterinary Medicine	6 students (April 2026 enrollment)	4 students (April 2026 enrollment)

# アドミッション・ポリシー (AP)

山口大学大学院共同獣医学研究科獣医学専攻では、次代の獣医学教育・研究者の養成にとどまらず、高度獣医学専門家としての学識・技能・実務能力を身に付けた指導的獣医療人、豊かな人間地球社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。そのために次のような学生の入学を求めています。

## 求める学生像

- [1]研究者としての正しい倫理観を有し、行動規範を遵守できる人
- [2]獣医学に関する十分な基礎学力、獣医倫理並びに技術を有している人
- [3]研究活動に必要な英語能力とコミュニケーション能力を有している人
- [4]研究課題への探究心と好奇心が旺盛な人
- [5]豊かな人間性と向上心を有している人

## 入学者選抜の基本方針

山口大学大学院共同獣医学研究科獣医学専攻の教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた入学者を受け入れるために、獣医学専攻が求める能力・適性を多面的・総合的に評価し、選抜します。  
一般入試では、筆記試験、口述試験により判定します。

## 入学試験で重視するポイント

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆答試験	◎		
口述試験	◎	◎	○

◎:強く重視して評価する    ○:重視して評価する

# Admission Policy

The Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University aims to cultivate the next generation of veterinary educators and researchers, while also developing leading veterinary professionals equipped with the knowledge, skills, and practical abilities of advanced veterinary specialists and individuals who can contribute to the development of a prosperous human and global society. To this end, we seek students who match the following profile.

## Student Profile

**We seek students who:**

- [1] Demonstrate sound research ethics and adhere to established codes of conduct.
- [2] Have a solid foundation in veterinary science, along with a comprehensive understanding of veterinary ethics and technical skills.
- [3] Demonstrate the English language proficiency and communication skills necessary for research activities.
- [4] Show a keen sense of inquiry and curiosity towards research topics.
- [5] Possess a deep sense of humanity and demonstrate a strong drive for self-improvement.

## Basic Policy for Applicant Selection

To admit students with the appropriate abilities and aptitudes to receive education in the Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, we will evaluate and select applicants based on a comprehensive and multifaceted assessment of the capabilities and qualities we seek.

For the general entrance examination, assessment will be conducted through written and oral examinations.

## Points of Emphasis in the Entrance Examination

Selection Criteria	Specialized knowledge and skills necessary for conducting theoretical and practical research	Ability to think logically and critically to solve problems	Possession of a deep sense of humanity, social awareness, ethical principles, and collaborative skills
Written Examination	◎		
Oral Examination	◎	◎	○

◎: Strongly emphasized in evaluation    ○: Emphasized in evaluation

1. 募集人員

専攻	募集人員
	令和8年4月入学
獣医学	6名

\*入学を希望する者は、必ず希望する主指導教員の承諾を得た上で出願書類等を提出して下さい。

2. 出願資格

- 1) 共同獣医学研究科の博士課程に入学することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。
- (1) 大学における修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者（令和8年3月までに卒業見込みの者も含む。）
  - (2) 大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者（令和8年3月までに卒業見込みの者も含む。）
  - (3) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者（令和8年3月までに修了見込みの者も含む。）
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者（令和8年3月までに修了見込みの者も含む。）
  - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
  - (7) 文部科学大臣の指定した者
  - (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、共同獣医学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  - (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における修業年限6年の獣医学若しくは薬学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者
- 2) 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者であって、共同獣医学研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものは、共同獣医学研究科の博士課程に入学することができる。
- (1) 大学における修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程に4年以上在学した者
  - (2) 大学における医学又は歯学を履修する課程に4年以上在学した者
  - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（あるいは、本大学院入学までに修了見込みの者）
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（あるいは、本大学院入学までに修了見込みの者）
  - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 注1. 文部科学大臣の指定した者とは、次のとおりです。
- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
  - ② 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ③ 修士課程を修了した者及び修士の学位を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を習得し、かつ必要な研究指導を受けた者で本研究科において大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - ④ 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- 注2. 出願資格1)の(7)(8)(9)及び2)に該当する場合は、出願前に、本要項の10による出願資格認定を受けて下さい。



# ADMISSION

## 1. Admission Capacity

Program	Admission capacity
	April 2026 entrance
Veterinary Medicine	6

Some students will be admitted by an entrance examination.

\* Those who wish to enroll, please submit application documents etc. after obtaining the approval of the main supervisor.

## 2. Admission Requirements

1) Applicants who fall into one of the following categories will be eligible for admission:

- (1) Those who have already graduated from a veterinary or pharmacy school after completing a six-year course (including those who will do so by March 2026)
- (2) Those who have graduated from a medical or dental school (including those who will do so by March 2026)
- (3) Those who have completed 18 years of school education abroad (including those who will do so by March 2026)
- (4) Those who have completed 18 years of school education abroad by taking subjects through a correspondence course of foreign countries in Japan (including those who will do so by March 2026)
- (5) Those who have completed 18 years of foreign school education in Japan designated by the Minister of Education, Science and Culture of Japan
- (6) Individuals who have been granted a degree equivalent to a bachelor's degree by an overseas university or other overseas school (provided that the comprehensiveness of such educational research activity is evaluated by a person who is certified by the government or a relevant authority of the country, or that it is separately specified as equivalent by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) following completion of a course with a length of at least 5 years (This may involve the completion of a course through correspondence classes conducted in Japan by the overseas school, or the completion of a course on the above-specified research at an education facility designated by the school education system in the relevant country.)
- (7) Those designated by the Minister of Education, Science and Culture of Japan
- (8) Those who have entered the graduate schools of other universities according to the second clause of Article 102 of the School Education Law and were admitted by the JVY on the basis of their academic abilities
- (9) Those who are 24 years or older and were admitted by the JVY on the basis of their having abilities equivalent to those of the graduates of veterinary or pharmacy, medical, or dental schools; their abilities are determined through Joint Graduate School's special entrance examination

2) In addition to the conditions mentioned above, the applicants who fall into one of the following categories will be considered by the JVY as having the necessary credits with an excellent record:

- (1) Those who have studied at a veterinary or pharmacy school on a six-year course for more than 4 years
- (2) Those who have studied at a medical or dental school for more than 4 years
- (3) Those who have completed 16 years of school education abroad (including those who will do so by entrance)
- (4) Those who have completed 16 years of school education abroad by taking subjects through a correspondence course of foreign countries in Japan (including those who will do so by entrance)
- (5) Those who have completed 16 years of foreign school education in Japan designated by the Minister of Education, Science and Culture of Japan

Note 1. Those designated by the Minister of Education, Science and Culture of Japan are required to possess one of the following qualifications:

- (1) They should have graduated from a medical or dental school according to Article 388 in the former School Education Ordinance.
- (2) They should have graduated from the National Defense Medical College according to Article 164 in the Establishment Law of the Japan Ministry of Defense.
- (3) They should have acquired a degree equivalent to a master's or should have studied for more than 2 years on a doctoral course without a course division composed of two-year and three-year courses and should have received more than 30 credits and instruction of research. Further, their current research accomplishments should be authorized by the JVY; they should also be certified by the University as applicants having higher qualifications than those who have completed courses in medical, dental, or veterinary schools.
- (4) They should have been devoted to research in universities or institutes for more than 2 years after having graduated from a university or college (excluding medical, dental, and veterinary schools) or should have completed 16 years of educational courses at a foreign school. Further, they should be authorized with accomplishments in the present research by the JVY as applicants having qualifications higher than those who have completed courses in a medical, dental, or veterinary school.

Note 2. Applicants who intend to apply in accordance with qualifications 1)-(7),(8),(9)and 2) must undergo before application an individual evaluation of their scientific abilities in relation to the requirements for admission, as described in section 10.

### 3. 出 願 手 続

#### (1) 出願期間

令和8年4月入学（第1次）	令和7年7月31日（木）～8月6日（水）（必着）
令和8年4月入学（第2次）	令和8年1月13日（火）～1月16日（金）（必着）

出願書類等を直接提出する場合は、次のとおり受け付けます。（受付時間は8時30分から17時15分まで。）

#### (2) 出願方法

出願書類等を郵送する場合は、必ず「書留速達」とし、封筒の表に「大学院共同獣医学研究科入学願書在中」と朱書して下さい。

#### (3) 出願書類提出先

〒753-8515 山口市吉田1 6 7 7 - 1

山口大学大学院共同獣医学研究科入試担当 電話 083-933-5937

#### (4) 出願書類等

- ① 入 学 願 書：本研究科所定の用紙
- ② 履 歴 書：本研究科所定の用紙
- ③ 卒業（見込）又は修了（見込）証明書：最終卒業学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書  
※「出願資格1）（6）」に該当する者は学位記の写しも添付すること。
- ④ 成績証明書：出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
- ⑤ 写 真：2葉（出願前3ヶ月以内に撮影の上半身、脱帽、正面向き、縦4cm×横3cmのものを入学願書及び写真票の所定欄に貼付して下さい。）
- ⑥ 検 定 料：30,000 円  
※ 日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は、免除する。  
※ 本学所定の用紙（払込取扱票等）に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局で山口大学指定の口座へ払い込んだ後、郵便局から受け取った振替払込受付証明書を、志願票裏面に貼り付けて下さい。なお、納入された検定料は、（5）の検定料を返還請求できるものを除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑦ 卒業論文又は修士論文の概要（卒業見込者又は修了見込者は、研究経過報告書の概要をもって代えることができる。）：概要は、A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度とし、本研究科所定の表紙を付けて下さい。出願資格の（注）の2に基づく志願者については、出願資格認定申請の際に提出した「研究業績書」に代えることができます。
- ⑧ 志願理由書並びに研究計画書：本研究科において、どのような分野でどのような内容について研究しようとしているのかが分かるように記入して下さい。（本研究科所定の表紙を付ける。）
- ⑨ 受験承諾書：本研究科所定の用紙により、所属長又は代表者が作成したもの。（官公庁、企業等に在職している者のみ）
- ⑩ 在留カード（写）：外国人の志願者は、在留カードの写し（両面）
- ⑪ 国費外国人留学生は日本政府奨学金留学生申請書の写し
- ⑫ あ て 名 票：本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に必要事項を記入して下さい。
- ⑬ そ の 他：外国語検定試験（実用英語技能検定（英検）、TOEIC（L&R）、TOEFL iBT）の成績を利用する者は、次の書類のいずれかを以下の方法で提出して下さい。

##### <提出書類>

- ・実用英語技能検定（英検）：令和5年11月以降に受験した合格証明書
- ・TOEIC（L&R）：令和5年11月以降に受験したOfficial Score Certificate（公式認定証）
- ・TOEFL iBT：令和5年11月以降に受験したOfficial Score Report

##### <提出方法>

当該検定試験実施機関が厳封したものを取り寄せ、開封せずに出願書類に同封し提出して下さい。

なお、上記の外国語検定試験の結果のうち、1つのみが利用可能です。複数の成績を取得している者については、最も高い換算点に該当するものを提出して下さい。

### 3. Application Procedure

#### 1) Application period

The deadlines for receiving the applications and all supporting documents are as follows:

April 2026 entrance (First round)	July 31 (Thu.) to August 6 (Wed.), 2025
April 2026 entrance (Second round)	January 13 (Tue.) to January 16 (Fri.), 2026

Operating hours: 8:30 to 17:15 on weekdays

The documents must arrive by 17:15 of the last day for an application period.

#### 2) Application process

Applications should be submitted in person or by mail. If the application form is accompanied by the other application materials, they should be sent by registered special delivery with “Application Form Enclosed” written on the envelope (preferably in red ink), to the following address:

#### 3) The Administration Office

Entrance examination charge, Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University.  
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-City, 753-8515, Japan  
Tel: +81-83-933-5937

#### 4) Application documents

- (1) Application form: The application form issued by the JVY should be used, and it should be filled out in English.
- (2) Curriculum vitae: The form issued by the JVY should be used, and it should be filled out completely.
- (3) A copy of the degree certificate regarding the completion of the final school course or a master's course should be provided. \* 「Admission Requirements 1) (6)」 should also attach a copy of the degree.
- (4) Academic transcript: A copy of the official transcript of the latest degree certified by the president or dean of the last school from which the applicant graduated should be attached.
- (5) Photograph: Two identical photographs taken within the last three months before the application should be provided for the designated sections of the application form and the admission card. The photographs should be portrait-sized (4×3 cm).
- (6) Application fee: 30,000 yen.  
\* Foreign students with a scholarship from the Japanese government are exempt from paying the application fee.  
\* The application fee should be deposited at the post office indicated by Yamaguchi University. The original remittance receipt should be attached to the reverse side of the application form. The section of the order form to be filled out by the recipient must be left blank.
- (7) Copy of the graduation thesis: A copy of the graduation thesis or the master's degree thesis along with a summary of about 1,200 words should be submitted. A4-sized paper should be used, and the cover issued by the JVY should be attached to the summary. In the case of an applicant whose application qualification falls under 2, the “Research results” submitted for authorization of the applicants will be substituted.
- (8) Preferred research outline: The applicant should explain his/her preferences, reasons, and research plans with regard to the school. (Attach the cover issued by the JVY along with the statement paper.)
- (9) Employment letter if applicable: If the applicant is working for a public office or company, a letter of permission written by the head at the place of employment should be submitted. (The form issued by the JVY should be used.)
- (10) Certificate of registration as a foreigner: Foreign applicants should submit a copy of their “RESIDENCE CARD” issued by the Immigration Bureau of Japan.
- (11) Proof of funds for a copy of the application to the Japanese government to cover expenses: Applicable to foreign students who have obtained a Japanese government scholarship.
- (12) Mailing label: The form issued by the JVY should be used, and it should be filled out.
- (13) Others: Those who use the results of the foreign language exam (practical English proficiency test, TOEIC (L & R), TOEFL iBT), please submit one of the following documents in the following way. In case of  
<Documents to be submitted>
  - Practical English Proficiency Test : Certificate of Examination taken after November, 2023.
  - TOEIC (L & R): Official Score Certificate (Official Certificate) that was taken after November, 2023.
  - TOEFL iBT: Official Score Report taken after November, 2023.

※厳封された成績書類が出願期間までに間に合わない場合は、開封済みの当該成績書類のコピーを出願書類に同封し、第1次募集は令和7年8月6日（水）までに、第2次募集は令和8年1月16日（金）までに送付して下さい（必着）。その上で、厳封された成績書類を第1次募集は令和7年8月18日（月）までに、第2次募集は令和8年1月21日（水）までに送付して下さい（必着）。また、成績書類については一切返還しません。

（注）出願書類は、日本語で記載することを原則とします。出願資格認定時に提出済みの書類は再提出不要です。

#### （5）検定料の返還について

イ. 次に該当した場合は納入済の検定料を返還します。

- ① 検定料を納入済であるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

ロ. 返還請求の方法

上記①～②に該当した場合は、本学へ連絡して下さい。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、次の連絡先へ郵送して下さい。

なお、上記③の場合は出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、次の連絡先へ郵送して下さい。

（連絡先） 〒753-8511 山口市吉田1677-1  
山口大学財務部財務課 電話 083-933-5098

## 4. 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、学力検査及び出願書類等を総合して行います。

ただし、外国人留学生にあつては、出願書類審査のみに基づく選抜（渡日前特別選抜）を行う場合もあります。（下記（2）参照）

### （1） 学 力 検 査

#### ① 筆答試験

外国語科目：英語

注1 英和辞典及びステッドマン医学大辞典を本研究科で用意します。

注2 外国人留学生にあつては、日本語または英語による小論文とします。

なお、本研究科が指定する外国語検定試験（実用英語技能検定（英検）、TOEIC（L&R）、TOEFL iBT）において、下表のスコアを持つ者（ただし、外国人留学生は除く。）は、上記の筆答試験を免除します。

実用英語技能検定（英検）	TOEIC（L&R）	TOEFL iBT
準1級以上	730点以上	79点以上

※令和5年11月以降に受験したスコアのみ有効とします。

提出書類（証明書）は、当該検定試験実施機関が厳封したものを取り寄せ、開封せずに出願書類に同封し提出して下さい。詳細は、8ページの「（4）出願書類等 ⑬ その他」を参照して下さい。

#### ② 口述試験

最近の研究内容（卒業論文、修士論文、研究業績、症例発表等）及び今後の研究計画を中心に発表10分、質疑応答10分を行います。（発表は各自パソコンを持参し、液晶プロジェクターを使用します。）

### （2） 渡 日 前 特 別 選 抜 （ 外 国 人 留 学 生 ）

試験日に来日できない志願者を対象とし、出願書類で総合的に審査・判定します。

注1 この試験方法を希望する場合、希望主指導教員と事前に十分に連絡・相談し、確認を得て下さい。

注2 出願書類の他に、責任ある人物2人からの推薦状及び希望主指導教員の推薦状を提出して下さい。

（出身大学等の指導教員、企業の上司等）



#### <Submission method>

Please retrieve items strictly sealed by the examination testing executing agency, enclose it in the application documents without opening it, and submit it.

In addition, only one can be used out of the results of the examination, For those who acquire multiple grades, please submit the one that corresponds to the highest conversion point.

※If the strictly sealed score document is not in time by the application period, please enclose the copy of the opened score document in the application form and send it by August 6 (Wed.) of 2025 for the first round and by January 16 (Fri.) of 2026 for the second round. In addition, please send the stamped sealed document by August 18 (Mon.) of 2025 for the first round and by January 21 (Wed.) of 2026 for the second round. (Necessary) In addition, we will not refund any grades documents.

Note: It is not necessary to resubmit application documents that have already been submitted for the qualification of application.

#### 5) Refund of the application fee

1) The application fee will not be refunded for any reason, except in the following cases:

- (1) the fee has been paid without any application
- (2) the fee has been paid twice
- (3) rejection of the application

2) Procedure for refund

In the case of (1) and (2), please contact the admission office at the address provided in 3.(3). After this, a bill for the application fee refund will be sent to you. This bill must be filled out and returned to the Division of Finance, Department of Finance, Yamaguchi University, at the address mentioned below. In the case of (3), the bill for the application fee refund will be sent to you along with the application form.

(Contact)

The Division of Finance, Department of Finance, Yamaguchi University.  
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-City, 753-8511, Japan Tel: +81-83-933-5098

## 4. Selection of Applicants

Applicants will be selected on a competitive basis. The admission of an applicant will be determined on the basis of his/her written and oral test scores and academic record.

However, foreign students may be selected on the basis of their application documents and need not take the written or oral tests in Japan.

#### 1) Examination of Academic Subjects

(1) Written examination:

Foreign language: English

Note 1. Stedman's medical dictionary and an English-Japanese dictionary will be provided by the administration office.

Note 2. Foreign students can choose between Japanese and English essays.

In addition, the foreign language examinations exam (practical English skill test, TOEIC (L & R), TOEFL PBT) designated by the JVY, Those who have the score in the table below exempt from the above-mentioned writing test. (Foreign students are not eligible)

Practical English skill test	TOEIC (L&R)	TOEFL iBT
Level 1 or higher	730 points or more	79 points or more

※ Only score accepted after November 2023 is valid.

Please submit the application form (certificate) strictly sealed by the relevant examination executing agency, enclose it in the application document without opening it, and submit it. For details, please refer to "4) Application documents (13) Others" on page 9.

(2) Oral examination:

The oral test will concern the student's recent research contents (graduation thesis, master's degree, research results, case reports, or a substitute) and the statement of his/her study plan in the JVY. The oral presentation and the questions and discussions will each take 10 minutes. (Please bring your own PC, and use the LCD projector to give a presentation.)

## 5. 学力検査の日時及び場所

令和8年4月入学（第1次）	令和7年8月28日（木）
令和8年4月入学（第2次）	令和8年1月27日（火）

科 目	時 間	場 所
外 国 語	10時00分～12時00分	＊ 山口大学共同獣医学部
口 述 試 験	13時30分～	

＊詳細な場所は受験票送付時に連絡します。

## 6. 合 格 発 表

令和8年4月入学（第1次）	令和7年9月12日（金）	午前10時
令和8年4月入学（第2次）	令和8年2月12日（木）	

共同獣医学部に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話等による合・否の問い合わせには応じません。

## 7. 入 学 手 続

### （1）入学手続期間

令和8年4月入学	令和8年2月16日（月）～2月19日（木）（必着）
----------	---------------------------

受付時間は、8時30分から17時15分まで

### （2）提出書類等

必要書類及び手続の方法等については、合格通知の際に、本人に通知します。

### （3）入学時に要する経費

① 入学料 282,000 円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）

（注）授業料の納付については、希望より前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できます。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用するので注意して下さい。

なお、入学手続終了後に、改訂を決定（本募集要項公表後の額となります。）した場合は、改訂額との差額を納入していただくこととなります。

## 8. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、対応を事前に協議しますので、希望する対応等を記載した事前相談書を下記期限までに「3（3）出願書類提出先」へ提出のうえ、相談してください。

事前相談書の提出期限

区 分	提出期限
令和8年4月入学（第1次）	令和7年6月27日（金）
令和8年4月入学（第2次）	令和8年1月5日（月）

## 2) Admission of foreign students based on their application documents

Those who are unable to come to Japan at the time of the entrance examination may be selected on the basis of their application documents.

Note 1. Those who wish to undergo the abovementioned selection procedure without taking the examinations are required to have sufficient consultations with the major supervisor under whom they will study and for supervisor confirmation before the time of application.

Note 2. In addition to application documents, please submit recommendation letters written by two academic advisors or heads at the place of employment, and preferred supervisor.

## 5. Time, Date, and Place of Examination

<b>April 2026 entrance (First round)</b>	<b>August 28 (Thu.), 2025</b>	<b>Written Test 10:00~12:00</b> <b>Foreign Language</b> <b>(Japanese or English essay)</b>	<b>Joint Faculty of</b> <b>Veterinary Medicine,</b> <b>Yamaguchi University</b>
<b>April 2026 entrance (Second round)</b>	<b>January 27 (Tue.), 2026</b>	<b>Oral Test 13:30~</b>	

\* The location will be announced when the examination admission card is sent.

## 6. Announcement of the Successful Applicants

List of the successful applicants admitted to the program will be posted on the announcement board at the Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, at 10:00 am on the following dates:

<b>April 2026 entrance (First round)</b>	<b>September 12 (Fri.), 2025, 10:00AM</b>
<b>April 2026 entrance (Second round)</b>	<b>February 12 (Thu.), 2026, 10:00AM</b>

In addition, a separate notice will be mailed to each successful applicant.

## 7. Enrollment Procedure

### 1) Notification of the submission of registration and documents

The time of registration is from:

<b>April 2026 entrance</b>	<b>February 16 (Mon.) to February 19 (Thu.), 2026</b>
----------------------------	---

The documents must arrive by 17:15 of the last day for an application period.

2) Documents and procedural instructions will be provided to each successful applicant along with a letter of notification.

### 3) Course fees

(1) **Entrance fee: 282,000 yen**

(2) **Tuition fee: 267,900 yen for the first semester (535,800 yen per year)**

Note: The total annual tuition fee can be paid when making the payment for the first semester fee. When the tuition fee is revised during the course of the study, the revised fee after the admission publication will have to be paid. When the entrance and tuition fees are revised after completion of the enrollment procedure, the difference in the required fee must be paid.

## 8. Pre-consultation with Applicants with Disabilities

Applicants with disabilities, who need special care in taking the entrance examination and studying, should submit a written request for pre-consultation describing the preferred special care to "3. 3) The Administration Office" by the deadline as below:

Deadline to submit Pre-consultation

<b>Round</b>	<b>Deadline to submit</b>
April 2026 entrance (First round)	<b>June 27 (Fri.), 2025</b>
April 2026 entrance (Second round)	<b>January 5 (Mon.), 2026</b>

年 月 日

山口大学 副学長(教育学生担当) 殿

フリガナ

氏名

性別

住所〒

電話番号

最終出身学校名

### 事前相談書

山口大学大学院に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

### 記

1. 志望する研究科・専攻及び入試種別

2. 希望指導教員名

3. 障害の種類、程度

4. 受験上の配慮を希望する事項

5. 修学上の配慮を希望する事項

6. 大学等における生活状況等(主として授業関係)

7. その他

8. 添付書類

☐ 医師の診断書(写し可)または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、  
いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。

☐ その他相談する際に必要と思われる参考資料

※募集要項の「障害等のある入学志願者との事前相談について」を確認の上、記入してください。



yyyy/mm/dd

To the Vice-President of Yamaguchi University (Academic and Student Affairs)

Name

Gender

Address

(Postal Code:            )

Tel.

Name of the most recent school

#### Pre-consultation

Since I would like to apply for admission to the graduate school of Yamaguchi University,  
I consult the following:

#### Details

1. The preferred graduate school, program and type of entrance examination
2. Name of the preferred supervisor
3. Type and level of disability
4. Any special care you desire in taking the examination
5. Any special care you desire in studying
6. Current life circumstances (mainly related to classes)
7. Others
8. Attached documents
  - ☐ Doctor's certificate (photocopy is acceptable) or a copy of disability certificate
  - \*Please be sure to attach either of these documents as a proof you need special care.
  - The medical certificate in Japanese or English is recommended.
  - ☐ Other reference documents that may be necessary for consultation

\*Please fill in after checking the “Pre-consultation with Applicants with Disabilities” in the  
ADMISSION PROCEDURE.

## 9. 注 意 事 項

- (1) 出願に当たっては、希望する教育研究分野の主指導教員と事前に十分相談して下さい。
- (2) 受験者は、学力検査当日、受験票を必ず持参して下さい。
- (3) 提出した出願書類の記載事項の変更は認めません。
- (4) 官公庁、企業等に在職のまま入学をしようとする者は、入学手続の際に、事業所の長又は代表者の入学承諾書を必要とするのであらかじめ承知しておいて下さい。
- (5) 出願に関して問い合わせをする場合は、本要項の3の(3)に照会して下さい。なお、郵便で照会する場合は、郵便番号、住所、宛名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を同封して下さい。

## 10. 出願資格の認定について

出願資格1)の(7)(8)(9)及び2)に該当する者の認定審査は、経歴調査、業績調査及び口頭試問により行います。ただし、経歴調査及び業績調査の結果、大学の獣医学若しくは薬学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力を有する者であると認めた場合は、口頭試問は行いません。

### (1) 提出書類

- ① 入学試験出願資格認定申請書：本研究科所定の用紙
- ② 履 歴 書：本研究科所定の用紙
- ③ 研究歴証明書：本研究科所定の用紙（出願資格注1. ④に該当する場合）
- ④ 研究業績書：研究経過及び研究業績の概要をA4判用紙を使用し、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度で記載し、本研究科所定の表紙を付けて下さい。
- ⑤ 研究成果資料：出願資格（9）に該当する場合は論文等を提出して下さい。
- ⑥ 成績証明書：出願資格（7）（8）に該当する場合

### (2) 提出期限

令和8年4月入学（第1次）	令和7年6月13日（金）～6月27日（金）（必着）
令和8年4月入学（第2次）	令和7年12月15日（月）～令和8年1月5日（月）（必着）

### (3) 提出先

〒753-8515 山口市吉田1677-1  
山口大学大学院共同獣医学研究科入試担当 電話 083-933-5937

(4) 口頭試問を行う者については、その日時を別途通知します。

### (5) 認定審査結果の通知

審査の結果は、次の期日までに本人宛に通知します。

令和8年4月入学（第1次）	令和7年7月30日（水）
令和8年4月入学（第2次）	令和8年1月9日（金）

## 9. Important Notes

- (1) Before submitting the application, it is desirable for the applicant to consult with the major professor under whom the applicant wishes to study.
- (2) Applicants must carry the entrance examination card during the examination.
- (3) No change in the documents will be allowed after submission of the application.
- (4) The application fee, once received, will not be refunded.
- (5) Requests for further information related to admission or registration should be directly made to the Graduate School Affairs Section, the JVY. (Refer to item 3.(3.)). A self-addressed envelope with appropriate stamps, including registered mail charge if required, should be included.

## 10. Authorization of Applicants Falling Under Items 1)-(7),(8),(9) and 2)

Authorization will be issued upon submission of the following papers.

However, the oral test will be omitted for those applicants who are able to show that their scholastic level is equivalent to or higher than that of students falling under the previously mentioned categories.

### 1) Papers to be submitted:

- (1) Application for certification of the applicant: The form issued by the JVY should be used.
- (2) Curriculum vitae: The form issued by the JVY should be used.
- (3) Certificate of research experience: The form issued by the JVY should be used. (Required for persons falling under Admission Requirements Note1. (4))
- (4) Research results: Attach the cover issued by the JVY along with a summary of about 1,200 words in A4 size.
- (5) Research materials: The applicants, falling under Admission Requirements (9), should submit any theses, books, academic reports, academic lectures, patents, etc., that they have produced.
- (6) Academic record: Applicants falling under Admission Requirements (7) and (8) must have an academic transcript certified by the president or dean of the last school they attended.

### 2) Submission Period

The abovementioned papers will be accepted on the following dates:

<b>April 2026 entrance (First round)</b>	<b>June 13 (Fri.) to June 27 (Fri.), 2025</b>
<b>April 2026 entrance (Second round)</b>	<b>December 15 (Mon.),2025 to January 5 (Mon.), 2026</b>

### 3) Address

Entrance examination charge, Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University.  
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-City, 753-8515, Japan Tel: +81-83-933-5937

### 4) Applicants taking the oral examination will be separately notified of the date.

### 5) Authorization

The result of the examination will be mailed to each applicant on:

<b>April 2026 entrance (First round)</b>	<b>July 30 (Wed.), 2025</b>
<b>April 2026 entrance (Second round)</b>	<b>January 9 (Fri.), 2026</b>

## <山口大学大学院共同獣医学研究科の概要>

### 1. 設置の趣旨

本研究科は、「世界先端的な獣医学研究を推進し、高い生命倫理と研究者倫理を備えた先導的獣医学教育・研究者の養成を通じて国際水準の獣医学教育の発展と深化に寄与し、又は高度獣医学専門家としての学識と研究能力を有する指導的獣医療人を輩出して地域・国際社会の獣医学的課題の解決を図り、以て人間地球社会の発展に貢献する。」という教育理念の下、具体には「次代の獣医学教育・研究者の養成に止まらず、高度獣医学専門家としての学識・技能・実務能力を身につけた指導的獣医療人を輩出して、豊かな人間地球社会の発展に貢献する」ことを目的としている。

### 2. ディプロマ・ポリシー

山口大学大学院共同獣医学研究科獣医学専攻では、次代の獣医学教育・研究者の養成にとどまらず、高度獣医学専門家としての学識・技能・実務能力を身に付けた指導的獣医療人、豊かな人間地球社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。この実現のために、山口大学のディプロマ・ポリシーのもと、以下を共同獣医学研究科獣医学専攻のディプロマ・ポリシーに定めます。これらを満たした上で、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して、「博士（獣医学）」の学位を授与します。

#### [1] 高度な専門性と学識

獣医学に関する最先端の科学技術を習得し、高度な学識と技能に基づいて研究を遂行できる。[DP1]

#### [2] 豊かな教養

獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応できる実践的なコミュニケーションができる。[DP2]

#### [3] 自律・協働する力と物事をかたちにする力

1. 生命の科学的理解と論理的思考、高い生命倫理観と研究者倫理観に基づき、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる。[DP3-1]
2. リーダーとして高い素養を備え、社会で活躍できる。[DP3-2]

### 3. 教育の特色

本研究科では、社会のニーズに対応した2つの教育コースを設けています。

- 1) 獣医科学コース 基礎獣医学、応用獣医学、臨床獣医学を配し、先進的な研究を通じて我が国における次世代の欧米水準の獣医学教育を担う高度な研究者養成プログラム
- 2) 獣医専修コース 上記に加え、実験動物医学専門医、病理学専門家等の高度獣医専門家及び先端・高度な動物医療を担う指導者としての獣医療人を養成するプログラム

### 4. カリキュラム・ポリシー

山口大学大学院共同獣医学研究科獣医学専攻では、学生がディプロマ・ポリシーを満たすために、教育課程・教育内容、教育方法及び学修成果の評価についての方針を以下のように定めます。

#### 1. 教育課程・教育内容

獣医学専攻の教育課程は共通科目（共同教育科目、専門教養科目、先端実践科目、特別専修科目）及びコース科目（研究推進科目）で構成されます。

「共通科目（共同教育科目）」は、両大学の教員が開講する講義科目を通じて、専門とする学問領域以外の幅広く高度な獣医学的な知識を修得させ、高度な研究者及び優れた獣医学専門家としての人材養成を目的とします[DP1]。

「共通科目（専門教養科目）」は、研究者としての行動規範、倫理、知的財産の管理、専門的な英語力を身に付け、国際的に活躍できる獣医学専門家としての教養を高めることを目的とします[DP2, DP3-1]。

「共通科目（先端実践科目）」はディプロマ・ポリシーの獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応し、実践的なコミュニケーション及びプレゼンテーション能力等を習得することを目的とします[DP2]。

「共通科目（特別専修科目）」は、獣医学術団体による専門医制度、認定医制度、専門家協会会員資格制度に規定された知識、技術、実務等を複合的に実践し、高度専門家として獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる能力を習得することを目的とします[DP3-1]。

「コース科目（研究推進科目）」は、学生が目指す研究領域において、研究推進のための高度な専門的知識と技術を修得することを目的とします[DP3-1]。

1～3年次に各科目の特別講義、特別演習、特別実験により博士としての教養と専門知識を身に付け、獣医学に関する最先端の科学

技術を修得し、社会で活躍できるリーダーを養成します[DP1, DP3-2]。

研究により得られた成果を基に、4年次に学位論文を作成する。生命の科学的理解と論理的思考に基づいた研究指導により、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる人材を養成します[DP3-1]。

## 2. 教育方法

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

学生の主体的学びを推進するためにアクティブ・ラーニングを導入し、課題探求・解決学習及び実践的教育を行います。

対面式／双方向性メディア形式授業あるいはビデオ・オン・デマンドや E-ラーニングシステムを活用した授業を行います。

講義形式の授業を中心として知識の定着を図り、演習・実験を通して知識活用法と技能を教授し、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション等の実践により汎用的な技能を養います。

## 3. 学修成果の評価

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確にし、試験及びレポート等に基づき、学修成果の到達度を厳格に評価します。

4年間の学修成果は、4年次までの修得単位数に加え、「学位論文」による総括的評価を行います。

## 5. 修了要件

学生は、本研究科の教育課程において、30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを修了要件とし、最終審査に合格することによって、博士（獣医学）の学位を授与する。なお、30単位以上のうち、10単位以上は鹿児島大学開設科目の単位とする。

## 6. 学位

本研究科の課程を修了した者には、山口大学及び鹿児島大学の連名による博士（獣医学）の学位を授与する。

## < Outline of the Doctoral Course of the JVY >

### 1. Objective

The JVY contributes to the development and furthering of international level veterinary education through promoting world-class advanced veterinary research, training, and advanced veterinary education, and produces researchers with high standards in terms of bioethics and research ethics. This results in veterinary professionals with academic knowledge and research capabilities as advanced veterinary experts to undertake veterinary tasks in regional and international society, thereby contributing to the development of human society. Under the educational philosophy above, we aim to contribute to the development of a rich human society by producing not only next-generation veterinary educators and researchers but also advanced veterinary professionals with high levels of knowledge, skills, and practical abilities as advanced veterinary experts.

### 2. Diploma Policy

The Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University aims to cultivate the next generation of veterinary educators and researchers, while also developing leading veterinary professionals equipped with the knowledge, skills, and practical abilities of advanced veterinary specialists and individuals who can contribute to the development of a prosperous human and global society. In order to achieve this, the following Diploma Policy of the Joint Graduate School of Veterinary Medicine has been established based on the Diploma Policy of Yamaguchi University. The degree of Doctor of Veterinary Medicine is awarded to students who have met these requirements and passed the dissertation defense and final examination.

#### [1] Advanced Expertise and Academic Knowledge

Students will acquire cutting-edge scientific technologies in veterinary medicine and be able to conduct research based on advanced academic expertise and skills [DP1].

#### [2] Broad Intellectual Foundation

Students will be able to communicate practically to engage in international research environments in the field of veterinary science and veterinary medicine [DP2].

#### [3] Autonomy, Collaboration, and Implementation Skills

1. Based on a scientific understanding of life, logical thinking, and a high sense of bioethics and research ethics, students will be able to address or solve various issues surrounding veterinary science as researchers or advanced specialists, with their own awareness of problems [DP3-1].

2. Students will be able to play active roles in society with a high level of leadership [DP3-2].

### 3. Characteristics of our education program

At the JVY, two education courses are offered to produce professional veterinary researchers or specialized veterinarians:

#### 1) Veterinary Science Course

Produce advanced veterinary researchers who lead next-generation global level veterinary education and research.

#### 2) Veterinary Specialist Course

Produce leading professional veterinarian with a certified license as an advanced clinician, pathologist, and experimental animal veterinarian.

### 4. Curriculum policy

The Joint Graduate School of Veterinary Medicine, Yamaguchi University has established the following policies regarding curriculum, educational content, educational methods, and evaluation of learning outcomes in order for students to fulfill the Diploma Policy.

#### 1. Curriculum and Educational Content

The curriculum for the Joint Graduate School of Veterinary Medicine consists of Core Curriculum Elements (Non-specialized Subjects, Specialized Subjects, Advanced Practical-Skill Subjects, and Special Professional



Subjects) and Elective Elements (Researcher Training Subjects).

"Non-specialized Subjects" aim to develop highly skilled researchers and proficient veterinary specialists by providing students with a broad and advanced veterinary knowledge beyond their specific field of study through lectures offered by faculty members from both universities [DP1].

"Specialized Subjects" aim to enhance the knowledge and competencies of veterinary specialists who can work internationally by developing research ethics, codes of conduct, intellectual property management skills, and specialized English proficiency [DP2, DP3-1].

"Advanced Practical-Skill Subjects" aim to develop practical communication and presentation skills to engage in international research environments in the field of veterinary science and veterinary medicine, as outlined in the Diploma Policy [DP2].

"Special Professional Subjects" aim to develop the ability to address or solve various issues surrounding veterinary science as advanced specialists by comprehensively practicing the knowledge, techniques, and practical skills specified in specialist certification systems, veterinarian certification systems, and professional association membership qualifications established by veterinary academic organizations [DP3-1].

"Researcher Training Subjects" aim to provide students with advanced specialized knowledge and techniques necessary for promoting research in their focused area of study [DP3-1].

In the first three years, students engage in Special Lectures, Special Exercises, and Special Experiments across various subjects, cultivating doctoral-level expertise and acquiring cutting-edge scientific technologies in veterinary medicine, thus fostering their development as social leaders [DP1, DP3-2].

In the fourth year, students prepare their doctoral dissertation based on their research findings. Through mentorship emphasizing scientific comprehension of life and logical thinking, we aim to nurture researchers or advanced specialists who can identify problems on their own and address or solve various issues surrounding veterinary science [DP3-1].

## 2. Educational Methods

To cultivate the abilities outlined in the Diploma Policy, we will conduct educational activities using methods appropriate to the purpose and objectives of each subject.

We will introduce active learning to promote students' independent learning, and conduct inquiry-based, problem-solving, and practical education.

Classes will be conducted in in-person and interactive media formats or using video-on-demand and E-learning systems.

We will use lecture-style classes as the primary method for solidifying knowledge. Knowledge application and skills will be taught through seminars and experiments, while generic skills will be cultivated through practical activities such as discussions, group work, and presentations.

## 3. Evaluation of Learning Outcomes

Each subject will clearly define educational and learning objectives along with evaluation criteria. Learning outcomes will be strictly evaluated based on examinations and reports.

The overall learning outcomes for the four-year program will be comprehensively evaluated through the number of credits earned by the fourth year, in addition to the "doctoral dissertation."

## 5. Requirement for Graduation

Students are required to complete at least 30 credits in the curriculum of the Graduate School, receive necessary research guidance, pass the examination of the doctoral thesis and pass the oral or written examination on the contents of the dissertation and the field of specialties. A qualification of Doctorate of Veterinary Medicine is awarded to the students passing the final examination. In addition, out of the aforementioned 30 credits or more, 10 credits or more shall be for courses offered by faculty members of Kagoshima University.

## 6. Degree

For those who completed the course of this graduate course, a doctoral degree (veterinary science) by Yamaguchi University and Kagoshima University is awarded.

# 主 指 導 教 員 の 教 育 研 究 分 野 一 覧

## 専攻 獣医学専攻

主指導教員氏名	講義科目 (担当特別講義)	教 育 研 究 分 野	
		名 称	内 容
日 下 部 健	基礎獣医学特別講義 (動物細胞機能学)	動物細胞 機能学	動物の生殖戦略および哺乳類・鳥類の生後成長・種多様性に関する研究
加 納 聖	基礎獣医学特別講義 (発生遺伝学)	発生遺伝学	哺乳動物におけるボディサイズ制御決定機構メカニズムの解析
佐 藤 晃 一	基礎獣医学特別講義 (生物機能薬理学)	分子細胞 薬理学	炎症性疾患の発症における平滑筋細胞・免疫系細胞・筋線維芽細胞のクロストーク
大 濱 剛	基礎獣医学特別講義 (分子薬理学)	分子薬理学	タンパク質脱リン酸化酵素を標的とした新規創薬戦略の創成
岡 本 士 毅	基礎獣医学特別講義 (獣医生理生化学)	獣医生理 生化学	食嗜好性と肥満及び依存症に関わる脳神経科学研究
西 垣 一 男	応用獣医学特別講義 (感染免疫学)	感染免疫学	感染症の研究
度 会 雅 久	応用獣医学特別講義 (病原細菌学)	病原細菌学	病原細菌の感染機構および感染制御に関する研究
清 水 隆	応用獣医学特別講義 (細菌遺伝子工学)	細菌学免疫学	病原性細菌の感染機構および宿主防御機構に関する研究
高 野 愛	応用獣医学特別講義 (感染症学)	感染症学	動物由来感染症病原体の生存戦略解明および拡散に関わる疫学的研究
早 坂 大 輔	応用獣医学特別講義 (獣医微生物学)	獣医微生物学	節足動物媒介感染症、人獣共通感染症の疫学調査、診断・治療・予防法の確立および病態解析
下 田 宙	応用獣医学特別講義 (人獣共通感染症学)	獣医微生物学	野生動物由来感染症、越境感染症の疫学調査、診断・治療・予防法の確立および病態解析
櫻 井 優	応用獣医学特別講義 (獣医病理学)	獣医病理学	動物症例および疾患モデル動物の病理学的解析
渡 邊 健 太	応用獣医学特別講義 (環境感染症学)	環境細菌学	病原細菌とその自然宿主との関係性構築における分子機序の解析
渋谷 周 作	応用獣医学特別講義 (栄養代謝学)	獣医衛生学	病原体感染と宿主防御における栄養代謝・生合成制御シグナルと生体膜動態の解析
谷 健 二	臨床獣医学特別講義 (低侵襲外科学)	低侵襲外科学	伴侶動物の外科疾患における低侵襲な診断と治療法に関する研究
中 市 統 三	臨床獣医学特別講義 (腫瘍外科学)	腫瘍外科学	犬と猫の腫瘍性疾患の診断と外科的治療に関する研究



主指導教員氏名	講義科目 (担当特別講義)	教 育 研 究 分 野	
		名 称	内 容
水 野 拓 也	臨床獣医学特別講義 (小動物臨床免疫学)	分子免疫学	小動物の免疫介在性および腫瘍性疾患の病態解析 および新規診断法・治療法の開発に関する研究
佐 藤 宏	臨床獣医学特別講義 (寄生虫学)	寄生虫病学	公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監視 とその基礎生物学的研究
柳 田 哲 矢	臨床獣医学特別講義 (進化系統寄生虫学)	進化系統 寄生虫学	寄生虫の進化・系統分類に関する研究と、寄生虫病 対策への応用
高 木 光 博	臨床獣医学特別講義 (産業動物獣医学)	産業動物 獣医学	産業動物を対象として、生産性を阻害する主要な 疾患の病態解明とその予防法の開発
角 川 博 哉	臨床獣医学特別講義 (繁殖生理管理学)	繁殖生理 管理学	大動物や小動物を内分泌学、神経内分泌学、栄養学 的に調べ、繁殖管理、予防管理、動物健康管理のた めの新たな手法を開発する
佐々木 直樹	臨床獣医学特別講義 (大動物救急外科学)	救急外科学	大動物の難治性疾患に対する外傷治療、救急外科 および外科的集中治療に関する研究
板 本 和 仁	臨床獣医学特別講義 (侵襲制御学)	麻酔蘇生学	周術期の侵襲制御に関する総合的な研究
谷 口 雅 康	臨床獣医学特別講義 (生殖工学)	獣医繁殖学	産業動物、伴侶動物における人工繁殖および生殖 補助技術に関する研究
(連携大学院) 【日本中央競馬会】 ※以下、予定			
山 中 隆 史	応用獣医学特別講義	感染症学	馬感染症の病態解析とその制御に関する研究
丹 羽 秀 和	応用獣医学特別講義 (馬臨床細菌学)	感染症学	馬の細菌および真菌感染症の予防、診断および治 療に関する研究
坂 内 天	応用獣医学特別講義	感染症学	馬のウイルス感染症の診断法および疫学の研究
(連携大学院) 【国立感染症研究所】 ※以下、予定			
前 田 健	応用獣医学特別講義 (病原微生物学)	動物由来感 染症学	動物由来感染症、越境感染症、新興感染症に関する 研究

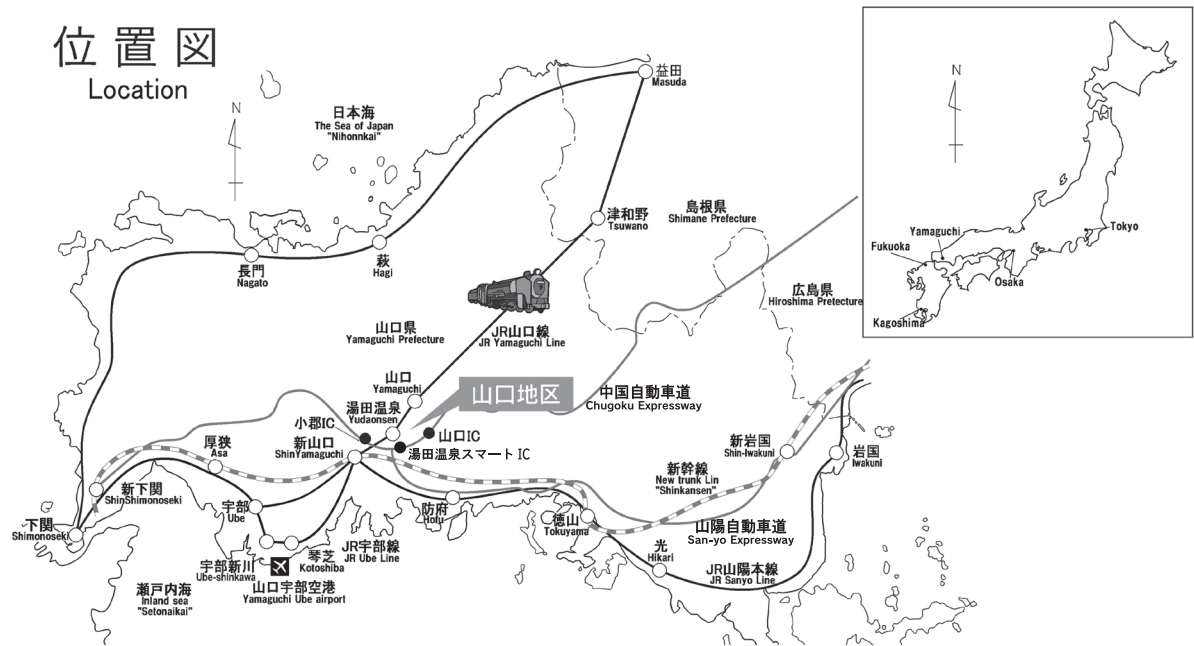
**Table of the Major Chairs and the Instruction and Research Fields of Supervisors**

**COURSE OF VETERINARY MEDICINE**

Name of Major Supervisor	subjects (Special lecture)	Field of Instruction and Research	
		Speciality	Content
Takeshi KUSAKABE	Basic Veterinary Medicine	Functional anatomy	Studies for animal reproductive strategy, and neonatal maturation and morphological diversities in mammals and birds.
Kiyoshi KANO	Basic Veterinary Medicine	Developmental genetics	Studied on the body size determination mechanism in mammals
Koichi SATO	Basic Veterinary Medicine	Molecular and Cellular Pharmacology	Cross talk of smooth muscle cells, immune cells and myofibroblasts in inflammatory diseases
Takashi OHAMA	Basic Veterinary Medicine	Molecular Pharmacology	Development of novel drug discovery strategy targeting protein phosphatases
Shiki OKAMOTO	Basic Veterinary Medicine	Veterinary Physiology and Biochemistry	Neuroscience research on food preferences, obesity and addictions
Kazuo NISHIGAKI	Applied Veterinary Medicine	Infectious disease	Studying infectious diseases
Masahisa WATARAI	Applied Veterinary Medicine	Pathogenic Bacteriology	Studies on bacterial pathogenesis and infection control
Takashi SHIMIZU	Applied Veterinary Medicine	Bacteriology Immunology	Studies on infection and host defense mechanisms of pathogenic bacteria
Ai TAKANO	Applied Veterinary Medicine	Epidemiology of Infectious Diseases	Epidemiological study of zoonotic infectious diseases, diffusion and dynamics of pathogens
Daisuke HAYASAKA	Applied Veterinary Medicine	Veterinary Microbiology	Epidemiological survey, studies of diagnostic, therapeutic and prophylaxis methods, and elucidations of pathogenic mechanism for arthropods-born infectious diseases and zoonoses
Hiroshi SHIMODA	Applied Veterinary Medicine	Veterinary Microbiology	Epidemiological study of wild animals-derived and transboundary infectious diseases, and establishment of their diagnostic, therapeutic and preventive procedures.
Masashi SAKURAI	Applied Veterinary Medicine	Veterinary Pathology	Pathological analysis in animal cases and animal models of disease.
Kenta WATANABE	Applied Veterinary Medicine	Bacteriology	Studies on pathogenic bacteria and their natural hosts
Shusaku SHIBUTANI	Applied Veterinary Medicine	Veterinary Hygiene	Analysis of nutrient metabolism, biosynthesis, and membrane dynamics in pathogen infection and host defense
Kenji TANI	Clinical Veterinary Medicine	Minimally Invasive Surgery	Research of minimally invasive diagnostic and therapeutic procedures for surgical diseases in small animal practice
Munekazu NAKAICHI	Clinical Veterinary Medicine	Surgical Oncology	Studies on diagnosis and surgical modalities in small animal oncology

Name of Major Supervisor	subjects (Special lecture)	Field of Instruction and Research	
		Speciality	Content
Takuya MIZUNO	Clinical Veterinary Medicine	Molecular Immunology in Veterinary Medicine	Research on pathogenesis, diagnostics and immunotherapy of immune-mediated diseases and cancer in small animals
Hiroshi SATO	Clinical Veterinary Medicine	Parasitology	Biological and epidemiological studies on zoonotic parasites of wild and captive animals
Tetsuya YANAGIDA	Clinical Veterinary Medicine	Evolutionary Phylogeny of Parasites	Evolutionary phylogeny of parasites, and its application to parasitic diseases
Mitsuhiro TAKAGI	Clinical Veterinary Medicine	Farm Animal Production Medicine	Fundamental and clinical studies for preventing farm animal diseases
Hiroya KADOKAWA	Clinical Veterinary Medicine	Reproductive Physiology and Management	Endocrinology, neuroendocrinology, and nutrition in order to develop new, important methods for animal reproduction, preventive medicine, and health management.
Naoki SASAKI	Clinical Veterinary Medicine	Emergency surgery	Research of trauma surgery, emergency surgery and surgical critical care for equine emergency
Kazuhito ITAMOTO	Clinical Veterinary Medicine	Anesthesiology/ Critical Care Medicine	Research for the medical specialty concerned with the total perioperative care of patients before, during and after surgery.
Masayasu TANIGUCHI	Clinical Veterinary Medicine	Animal assisted reproductive technology	Studies on artificial reproduction and assisted reproduction techniques in domestic animals.
(Cooperative graduate school) 【The Japan Racing Association 】 ※Be in charge			
Takashi YAMANAKA	Applied Veterinary Medicine	Infectious Diseases	Studies on the pathogenicity of equine infectious diseases and the control of the diseases
Hidekazu NIWA	Applied Veterinary Medicine	Infectious Diseases	Studies on the prevention, diagnosis, and treatment of equine bacterial and fungal infectious diseases
Hiroshi BANNAI	Applied Veterinary Medicine	Infectious Diseases	Diagnosis and epidemiology for equine viral diseases
(Cooperative graduate school) 【National Institute of Infectious Diseases 】 ※Be in charge			
Ken MAEDA	Applied Veterinary Medicine	Zoonoses	Studies on zoonoses, transboundary infectious diseases and emerging infectious diseases

## 位置図 Location



### 交通案内

新山口駅から JR 山口線湯田温泉駅下車。徒歩 20 分（約 1.5km）

From Shinyamaguchi Station to Yudaonsen Station by JR train. Get down at Yudaonsen Station and walk a distance of about 1.5km (20min.).

又は新山口駅在来線口から防長バス大学経由県庁行き山口大学前で下車。

共同獣医学部まで徒歩約 5 分（400m）

Take a Bocho bus from Shinyamaguchi Station to Prefectural Office. Get down at Yamaguchi University bus stop and walk a distance of about 400m (5min.) to Joint Faculty of Veterinary Medicine.

